■お名前

トヨタ・アキオ

■所属

Salesグループ　キーアカウントユニット

■入社日

2023/6/1

■好きなもの

・車

・運転

・ゴルフ

・フィールドホッケー

■SmartHRに出会うまで

・A.G.ベッカー時代

アメリカの投資銀行です

1984年にメリルリンチが買収されました

頑張って働いていましたが、自分が豊田家の人間であるという周囲の目から悩みが増していき、上司の「同じ苦労をするなら、トヨタのため苦労したらどうなんだ？」という言葉に豊田の姓を受け入れることを決意し、トヨタ自動車へ入社を決意します

ちなみに、父である章一郎には「（あきーおを）部下に持ちたいと思う人間は今のトヨタにはいない」と戒められ、特別扱いはしないと言われました

なので、トヨタ自動車に対してちゃんと履歴書を提出するなど、通常の選考プロセスで入社しました

・トヨタ自動車社員時代

入社後しばらくは、生産管理や国内営業などを担当しました

係長から平社員への降格させられたのは内緒だよ

販売部門への「カイゼン」活動の横展開などを通じ、販売部門の改革を主導したり、自動車関連の情報を総合的に提供するウェブサイト「GAZOO.com」を立ち上げたり、カリフォルニアにて、ゼネラルモーターズとの合弁企業「NUMMI」の副社長を務めたりしました

・トヨタ自動車役員時代

2000年に取締役、2002年に常務取締役、2003年に専務取締役、2005年に副社長に就任しました

役員就任以降は「GAZOO」や「G-BOOK」など情報事業、中国事業で第一汽車や広州汽車との合弁会社で社長や副社長を経験したり、世界戦略として推進した「トヨタIMVプロジェクト」統括、調達部門、などに注力しました

国内営業の担当役員に就任以降は自ら各地の自動車ディーラーへ飛び込み営業して各店で頭を下げて回るなど積極的に営業したりして、頑張っていました

2009年6月23日の株主総会で社長となることが承認され、1982年の工販合併で現在のトヨタ自動車が誕生して以降で最も若く52歳で社長に就任しました。

ちなみに、創業家である豊田家系の社長就任は、1995年8月に退任した豊田達郎以来14年ぶりらしいです

リーマンショックで71年ぶりの連結営業赤字転落、世界規模でリコール問題（トヨタバッシング）、東日本大震災、タイ洪水被害による操業一時停止、歴史的な円高などでトヨタは危機的状況でありましたが、「原点回帰」を掲げ、前社長までの急激な拡大路線を止めて緊急VA（価値分析）により原材料費削減や、トヨタF1チームやNUMMI撤退により経営を縮小しました

また経営幹部の人数を減らして意志決定を迅速化し、世界各地の消費者需要を詳細に把握して地域事情に適合した車種を投入することを決めたりしてました

他には、モビリティサービスの分野で孫正義率いるソフトバンクと提携したので、孫くんとはいまでも仲良しです

そのおかげか、2017年に藍綬褒章を受賞しました！！

さらに、2018年3月決算ではトヨタ史上最高益となる2.4兆円を達成し、2019年3月決算では日本企業として史上初めて30兆円の売上高を達成しました！絶好調！！イェイ！！

大活躍のうちに引退するのが美学でしたので、2023年4月1日に社長を退任しました

■趣味

・レース

・ゴルフ

・フィールドホッケー

・サプライズ

自分を模したマスコットの「モリゾウくん」を脱いでサプライズ登場したりするのが好きです

■SmartHRに出会ったきっかけ

トヨタの社長を退任して、何しようかな〜と考えていたところ、ミッションとバリューに共感して、すぐエントリーしてました